

令和2年度
学校関係者評価 報告書

令和3年 1 月

学校法人 康学舎
横浜中央看護専門学校
学校評価委員会

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 康学舎
横浜中央看護専門学校
自己点検・評価委員会

横浜中央看護専門学校 自己点検・評価委員会が実施した令和2年度自己点検・自己評価結果に基づき、下記により開催した学校関係者評価委員会における審議結果を、以下の通りご報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

委員長	金沢文庫病院 看護部長	亀井 とく子
委員	横浜なみきリハビリテーション病院 事務長	太田 雄大
委員	笠のぎ稲荷神社 宮司	小野 和伸
委員	横浜中央看護専門学校 学生保護者	田中 信一
委員	横浜中央看護専門学校 卒業生 (医療法人社団 相和会 浏野辺総合病院 看護師)	高橋 さゆり

2 学校評価委員(教職員)

横浜中央看護専門学校	学校長	柳谷 良子
横浜中央看護専門学校	副学校長	土江 順子
横浜中央看護専門学校	事務長	楫野 俊彦
横浜中央看護専門学校	学科長	澤村 恵子
横浜中央看護専門学校	事務部 係長	丸尾 美幸
横浜中央看護専門学校	事務部 主任	斎藤 有紀
横浜中央看護専門学校	非常勤講師	尾崎 正善

3 学校関係者評価委員会

(1) 第2回委員会

- ① 日時 : 令和3年1月28日(木) 10:00~12:00
- ② 場所 : 横浜中央看護専門学校 5階大会議室2
- ③ 会議概要
 - ・ 本年度重点目標並びに事業計画説明
 - ・ 本年度 自己評価項目の説明
 - ・ 本年度 自己評価内容についての報告
 - ・ 上記内容に対する意見や提案
 - ・ 総評

4 評価指標

(1) 自己点検・自己評価

- ・ 評価項目について、教職員が4段階で自己評価を実施。
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

(2) 学校関係者評価

- ・ 自己点検・自己評価が適切になされているかを、4段階で評価。
評価人数を割合で表記する。
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

5 評価結果

(1) 評価日及び評価者

- ① 評価日 : 令和2年1月28日(木)
- ② 評価者 : 5名(亀井、太田、小野、田中、高橋)

6 評価項目ごとの審議結果

評価項目1 教育理念・目的・目標				
<p>評価の視点</p> <p>1-1. 学校の教育理念・教育目的は周知されている。</p> <p>1-2. 育成すべき人材像等を含む教育目標が周知されている。</p> <p>1-3. 理念・目的・目標・育成人材像や特色などが学生、保護者等に周知されている。</p>				
<p>〈現状の取組状況・課題等〉</p> <p>1-1. 教職員へ入職時に、学生便覧をもとに説明を行っている。 年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時に教育理念・教育目的と照合しながら行っている。</p> <p>1-2. 教育目標には、医療者としての倫理観や人間性を養い、対象となる「人」の理解、科学的に看護をとらえる力、看護師の役割と責任、チームの一員、専門職としての自覚と自己成長等を含んでいる。 年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時に教育目標と各学年に応じた目標と照合しながら行っている。</p> <p>1-3. 学校説明会時に参加者に説明を行っている。 3月に入学前オリエンテーション時保護者へ伝えている。また入学生には入学ガイダンスで説明している。</p>				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			
<p>〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員 26 名の内訳があると分かりやすいので、検討して頂きたい。 また教員については、本校が教員としての勤務が初めてとなる方もいるため、資料に教員の経験年数等がある方が良いと感じた。 保護者へのガイダンスはできる限り実施し、情報に洩れがないようにして頂きたい。 教育理念・教育目標等についての理解は重要なので、入職時のオリエンテーション等で、更に分かりやすい説明の発信を目指して行って頂きたい。 				

評価項目2 学校運営

評価の視点

- 2-1. 教育理念・目的・目標等に沿った運営方針を策定している。
- 2-2. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されており、有効に機能している。
- 2-3. 人事・給与に関する制度が整備されている。
- 2-4. 教育活動等に関する情報公開が行われている。
- 2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られている。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 2-1. 教育理念・目的・目標に沿った、学校運営方針を毎年学校運営会議で再検討・策定し、康学舎理事会を経て決定している。決定した方針に関しては、年度初めに管理者から各部署の職員に説明を行っている。
- 2-2. 学則第 14・15 条、会議に関する細則、委員会規定に則り、学校運営や委員会運営を行っている。会議の内容については議事録を記録し、職員間のグループウェア上にデータで共有している。
- 2-3. 上尾中央医科グループには、全職種の人事・給与制度があり、それにおおむね従っている。制度については、採用面接時に説明している。
毎年 4 月の定時昇給時、7 月・12 月の賞与の時期に各部署の管理者(教員は学校長・副学校長、事務は事務長)と各個人が面談し説明している。説明内容については、人事評価に関するフィードバックも含まれる。
- 2-4. 学校ホームページ上の「情報公開」ページにて、本校の教育活動に関する情報を掲載し、広く公開している。
- 2-5. 学籍管理システムを導入し、IC 学生証をタッチすることで出欠を管理している。また、各教職員のスケジュール・会議の議事録等はグループウェアを利用し、共有している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- 2-3 について、去年より 0.3 上昇しており、評価できる結果となったので、今後も継続して説明をお願いして頂きたい。
- 2-3 について、「制度が適切に整備されている」という文言が、評価しづらい可能性があるため、質問項目の文言も検討して頂きたい。⇒ 変更済

評価項目3 教育活動

評価の視点

- 3-1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている。
- 3-2. 教育理念等を踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は適切に確保されている。
- 3-3. 職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が行われている。
- 3-4. 授業評価を実施し評価体制を確立している。
- 3-5. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっている。
- 3-6. 資格取得に関する指導体制が、カリキュラムの中で体系的に位置づけられている。
- 3-7. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。
- 3-8. 職員の能力開発のための研修等に参加している。

(現状の取組状況・課題等)

- 3-1. 指定規則を基準とし、人間理解、人体の構造と機能、病気と治療、基礎看護学、各領域看護学と体系化し、講義・演習実習と構築し実施した。その中で、教務会議を通して、教育理念を盛り込んだ内容の検討をしている。4月に講師会議を行い伝達している。講師会議に関して、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催を中止した。
- 3-2. カリキュラム構造図をもとに各科目を順次組み入れ進めている。
年度末に、カリキュラム委員会・各領域と連携しシラバス、進度時期の見直しを実施している。
- 3-3. 1年次には、自分のビジョンを持つ、礼儀・作法、人間理解（自己・他者）、人・死・生について考えを深める。を主眼にし、3つの科目を基礎科目に構築している。
・「キャリアデザインとマナー」・「人間関係論Ⅰ」・「生命哲学」、2年次に戴帽式を行い、将来のビジョンをより明確にする。
2・3年次には実践者になる自分を明確に思い描けるように、認定看護師による「看護」の講義を組み入れている。認知症サポート養成講座を講義に含め行っている。
1年次教科外では、映画鑑賞 看護学生が悩みながらも看護師を目指す「スクールオブ ナーシング」また、医療者としてのメイク・身だしなみ講座等を実施している。
- 3-4. 講義及び実習の評価は、科目の講義終了時に行っている。また、非常勤講師には結果を送付し、実習施設には、教育担当者に直接渡している。授業評価の結果を参考に、講義方法や演習を組み入れる等の工夫を行っている。
- 3-5. 単位認定試験及び評価については、学生便覧に学則と履修要綱について示している。
C(60点)以上を合格としている。
- 3-6. 基礎看護学、各領域看護学、統合分野の流れを講義・臨地実習を組み入れている。
今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、臨地実習は学内で実施した。
- 3-7. 各科目に適した経歴及び有資格者や、実習施設でも臨床指導者講習修了者または準ずるものを選定し配置している。専任教員で未資格者の場合は、毎年1～2名講習会へ受講を促している。また、担当領域で実習指導・講義作成の支援を行っている。今年度の講習会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催が中止になり、3名が未受講となっている。
- 3-8. 年度末に研修計画書を提出、希望の研修に参加できるようにしている。また、年間2～3回の管理職との定期面接時に、本人の将来の希望と学校側の要望をお互いに確認し、必要と思われる研修参加を促している。研修会参加後は、報告書を提出、必要時に伝達講習を行っている。また、研修内容をもとに講義・演習、実習、学生とのかかわり方等に反映している。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点からweb開催が増加したが、講義日程等の関係から参加が出来なかった。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		
<p>〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師会議の実施については、会議資料を郵送することも大切だが、講師の方にとっては、講義開始前に学生の状況を知れる機会があることは重要なので、講師会議は実施したほうがよいと感じる。 (オンライン開催も視野に入れて検討して頂きたい) 				

評価項目4 学習成果

評価の視点

- 4-1. 就職率の向上が図られている。
- 4-2. 資格取得率の向上が図られている。
- 4-3. 留年・退学率の低減が図られている。
- 4-4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 4-1. ・年2回(8月、3月)に学校で実習病院の説明会を実施している
 今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、8月は中止・3月は病院紹介動画の上映・資料配布会に変更し実施予定。
 - ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報掲示
 - ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座について学生委員会が内容を企画し、上記対策講座を業者に依頼し、実施している。
 - ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。
- 4-2. ・学力向上委員が主軸となり、入学時から国家試験ガイダンス、模擬試験、国家試験対策を計画的に実施している。
 - ・各学年に国家試験対策委員を設け動機付けを行っている。
 - ・3学年でグループ編成し、担当教員がサポートする。
 - ・録画配信システム(moodle)を用いた授業や問題と解説の掲示(今年度より開始)
 - ・国家試験終了後に各領域担当は問題の傾向を分析し、講義・実習に組み入れる。
 - ・教員は4月初めに国家試験対策に関する研修に参加し、講義・実習、学生指導へ反映している。
- 4-3. 学力向上委員会が中心となり、試験結果や欠席の状況等をもとに、学生と面談しサポートしている。必要時、カウンセラーを勧め、保護者と面談を行っている。
 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、学習意欲を保つことが難しい学生が目立った。昨年度と比較して、保護者との連携(電話・メール・面談)を取り、学生には、カウンセラーの利用を勧める対策を実施した。
- 4-4. ・就職先の看護部長や教育担当等に、学校来校時、就職説明会や実習でお会いした際に、卒業生の様子等を伺っている。
 - ・就職先から卒業生の様子の写真等を頂いた際は、2階の「病院からのお知らせコーナー」に掲示し学生へ周知している。
 - ・教職員には、グループウェア「サイボウズ」の掲示板に登録し、周知している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	2	3		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 国家試験合格率は全国平均も記載し、比較ができるようにして頂きたい。
- ・ 4-3 について、他の学校では新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、今年度の退学率はとても高い値になっている。本校は評価できる数値であり、学習環境が整っていると感じる。
- ・ 講義に関しては、対面での実施が効果的な科目もあるので、臨機応変に対応して頂きたい。

評価項目5 学生支援

評価の視点

- 5-1. 進路・就職に関する支援体制が整備されている。
- 5-2. 学生相談に関する体制が整備されている。
- 5-3. 学生に対する経済的な支援体制が整備されている。
- 5-4. 学生の健康管理を担う組織体制が整備されている。
- 5-5. 保護者と連携している。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 5-1. ・年2回(8月、3月)に学校で実習病院の説明会を実施している。
 今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、8月は中止・3月は病院紹介動画の上映・資料配布会に変更し実施予定。
 ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報掲示している。
 ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座を業者に依頼し、実施している。
 ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い、希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。進路未決定者等の取りまとめは、学生委員会が中心となり実施している。
 進路相談では、専門領域の教員がサポートしている。
- 5-2. スクールカウンセラーを週1回配置しており、学生面接や行動パターンから考えて必要時カウンセリングを勧めている。カウンセラーの面接は、他の学生や教員に知られずに行うことができる仕組みとなっている。また、オフィスアワー制度を導入し、学生が望む教員に相談できるシステムを整えている。
- 5-3. 神奈川県看護師等修学資金・日本学生支援機構奨学金・実習協力病院施設奨学金の3種類の奨学金制度を提供している。実習協力病院施設奨学金の説明会を年2回実施しており、各病院の奨学生になることができる機会を設けている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、説明会中止・内容を変更して実施した。
 また、修学資金と学生支援機構の奨学金に関しては、希望者に対して毎年採用～卒業後の手続きまで、細やかに対応している。
 学校内の自販機の設定料金を若干安くしている。
- 5-4. 毎年4月に学生・教職員を対象とした健康診断を実施している。また、学生委員会と学年担当が連携し、学生の診断結果に応じ再受診を勧め、結果を確認している。
 健康診断等の結果は、健康の記録に各自記載し、学生自身も健康状態を把握できるように努めている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、日々の健康チェック表を作成し、対応した。また、発熱等の体調不良者への対応も順次行っている。
- 5-5. 保護者を対象に、3月の入学前オリエンテーションや入学ガイダンスを実施している。
 また、年2回第一保証人宛てに学校広報誌を発行し、学校の様子をお伝えしている。
 今年度から、保護者連絡用アプリ「マチコミ」の運用を開始し、迅速に情報共有ができる様整備した。その他、学生個人のことに関しては必要時、保護者に連絡または面談を実施している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 5-5について、学生への支援もさらに手厚くしていくべきだが、保護者に対しての情報発信も大切であるので、今後も継続してほしい。

評価項目6 教育環境

評価の視点

- 6-1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。
- 6-2. 実習施設と連携し教育体制を整備している。
- 6-3. 防災に対する体制が整備されている。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 6-1. 指定規則に基づき教材・設備を整備しており、教育環境の充実に努めている。
 オンライン授業開始に向け、zoom(リアルタイム授業用)・moodle(録画授業用)の整備・運用を開始した。また、次年度以降にオンライン授業の環境を整備するため、以下の取り組みを実施予定。
 - ・5階会議室を zoom ルームとして整備し運用する。
 - ・授業用 ipad を買い替え(電子教科書の導入も併せて検討)
 - ・教室にメディアボックス(パソコンに代わる専用端末)を導入する。
 (今まで学生が講義用パソコンを準備していたが、負担軽減策として教室に常設の専用端末「メディアボックス」を設置し運用)
- 6-2. 実習前には、説明を兼ねて実習指導者会議を実施している。また、実習終了後も、実習担当者と振り返りを行い、次回の実習に活かしている。
 今後も、実習指導者や病棟スタッフとの情報共有を密に行っていく。
 今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、臨地実習はすべて学内で実施した。
 (厚生労働省から臨地実習を学内実習に代替え可の通達あり)
- 6-3. 年1回防災訓練を実施している。また、災害備蓄品を学校内に保管しており、横浜市の広域避難所として指定されている。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	1	4		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 評価項目6の評価が全体的に下がっているのは、今後の課題があると考え、他校も同じような状況ではないかと思うので、今後、対策を強化してほしい。

評価項目7 学生の受入れ募集

評価の視点

- 7-1. 学生募集活動は適正に行われている。
- 7-2. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられている。
- 7-3. 学生納付金は妥当なものとなっている。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 7-1. 入学試験は、細則・学生募集要項に則り適切に実施している。また、広報活動全般については、広報委員会内で内容を検討し、適切に実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、高校訪問は中止し、6月に学校案内・学生募集要項と、昨年度の入試に関する情報を、新入生の出身高等学校宛てに郵送した。
また、学校説明会をオンラインで実施し、遠方の受験生の参加ができる環境を提供した。
- 7-2. 学校ホームページ上の「国家試験・就職」ページにて、国家試験合格率並びに就職状況について、情報を公開している。
- 7-3. 学納金に関しては、経営状況等を加味し、県の指導のもと適正な学費を設定している。経営状況については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。また、学納金の情報については、学校説明会等で受験生に説明している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 受験生たちは学校ホームページの閲覧でまず情報を得ているので、そこで5～10分程度の動画などがある方が、イベントへの参加などに繋がるのではないかと。

項目8 財務

評価の視点

- 8-1. 中長期的に学校の財務基盤は安定している。
- 8-2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。
- 8-3. 財務について会計監査が適正に行われている。
- 8-4. 財務情報公開の体制が整備されている。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 8-1. 本校は、借入れや外部負債等も無く、安定した経営となっている。2020年4月から学費の一部値上げや、光熱費等の経費削減策を実施した結果、今年度の収支差額がプラスとなる見込みである。
- 8-2. 年度末までに、各委員会で予算を計上し、その他経費を含めた収支予算書を、会計事務所の公認会計士と学校法人全体で作成している。
- 8-3. 年度毎に、学校法人の業務および各種計算書類について、学校法人の監事による監査を実施している。
- 8-4. 学校法人の情報公開規程を整備し、学校ホームページ等で一般に公開している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 今後も安定した経営を目指して頂きたい。

評価項目9 法令等の遵守

評価の視点

- 9-1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。
- 9-2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。
- 9-3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
- 9-4. 自己評価結果を公開している。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 9-1. 指定規則に則り適正に配置している。また、神奈川県の看護師養成所に係る指導調査や、私立学校検査等の際に指導を受けた項目に関しては、適切に改善している。
関係法令に則り、施設・設備は整っている。看護師養成所の指導要領に示されている「機械器具、標本、模型及び図書」は品目数量を満たし、登録管理している。また、利用規定をもとに運用している。
- 9-2. 学校で使用する個人情報に関しては、個人情報保護管理規定に基づき適切に管理している。また、個人情報を閲覧できる者を限定する等、漏洩防止に努めている。また、学校ホームページ上に「プライバシーポリシー」を掲載し、受験生等の個人情報漏洩防止に努めている。
学籍簿に関しては、専用 PC 管理、操作は教務事務のみとしている。
学生個人の情報、資料は鍵管理で行っている。
実習前後に患者の情報管理について要項をもとに注意喚起を行っている。実習記録は回収し記録室に保管卒業後に融解処理を行っている。
- 9-3. 教職員の自己点検・自己評価を、毎年実施している。
- 9-4. 自己点検・自己評価の結果については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ 学生等の個人情報について、今後も不備がないように管理して頂きたい。

評価項目10 社会貢献・地域貢献

評価の視点

10-1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。

10-2. 学生のボランティア活動を奨励、支援している。

〈現状の取組状況・課題等〉

10-1. 町内会や保育園の避難訓練時に、本校の施設を開放している。

また、神奈川県主催の研修会において、本校の施設を提供し、例年連携を図っていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から研修会は開催中止となった。

10-2. 横浜市の道路美化ボランティア活動・ハマロードを、学生や教職員で定期的実施し、参加を推奨している。ハマロードに関しては、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、密にならない様グループを分ける等工夫して実施した。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・ ハマロードは良い取り組みだと思うので、今後も定期的な開催を目指して頂きたい。

- ・

7 総評

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していなかった様々なことが起こり、困難な事が多かったと思います。その中で、講義を継続していただけたことは良かったと感じています。今後、このような感染症への対応や事故など有事の際の安全対策についても、積極的に開示して頂きたいと考えております。

また、今年度は臨地実習が学内実習に変更を余儀なくされ、学生や教職員の方々にとって大変な一年だったかと思えます。その中で、臨地実習の場での学びがとても重要で意義があると、病院関係者の立場からも感じています。次年度入職される学生方については、臨地実習を経験していないという前提で、新人教育の内容を準備していますので、入職後のメンタルケアにも力を注ぎつつ、御校とも協力体制を取っていきたいと考えております。

最後にはなりますが、今年度の自己点検・自己評価を実施し、再度意義を確認して頂き、今後も風通しの良い学校運営を目指して頂きたいです。各項目の評価については、全体的に高い数値ではあり、学校として良く取り組んでいる印象を受けました。今回見えてきた課題について、今後も対策をお願いします。

今回は貴重な機会を有難うございました。